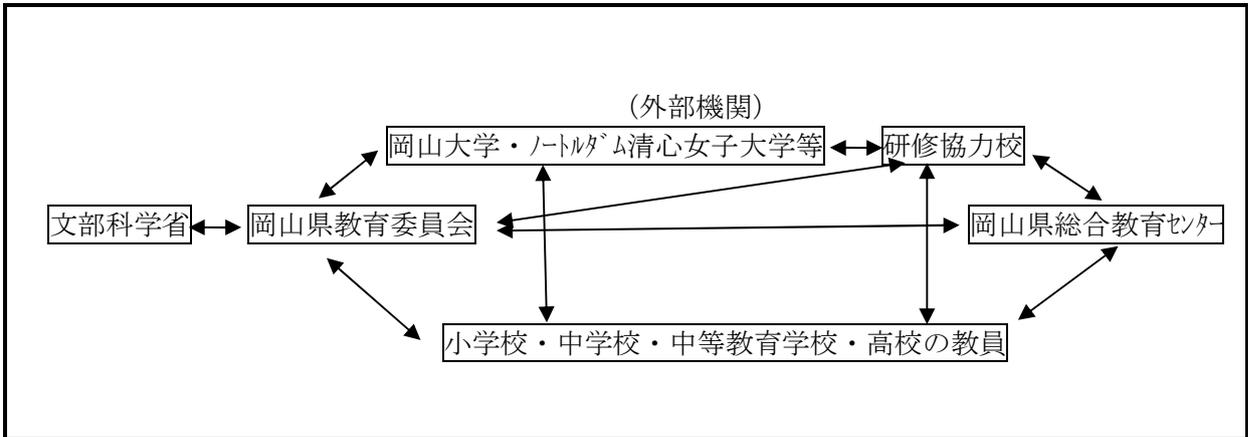


岡山県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

小学校においては、児童のコミュニケーション能力の素地の育成を図るため、言語活動を中心とした一層の授業改善や、教員がクラスルームイングリッシュを使って指導したり、ALTとの打合せをしたりするため、教員自身の英語力の向上を図る必要がある。また、次回の学習指導要領の改訂における第5, 6学年での教科化を見据え、次の方策を考えている。

- ① 研修協力校の公開授業において、担任が英語をふんだんに使った授業や、言語活動の充実のための有効な取組等を具体的に示し、各小学校での指導改善の取組の推進に活かす。また、研修協力校に、教育課程特例校の指定により教科としての英語を実施している学校を指定し、次回の学習指導要領の改訂に向けた授業や校内研修等の方向性の共有化を図る。
- ② 教員の資質・能力の向上のため英検、TOEFL、TOEIC等の外部検定試験の受験を働きかける。
- ③ 英語教育推進リーダーの実施する研修や研修協力校での研究の効果が高まるよう、総合教育センターで実施される小学校外国語活動講座やサテライト教室との連携を図る。
- ④ 年3回開催される英語教育推進リーダーの研修会には県内小学校の1/3の学校の教員が参加し、研修内容について各校で伝達を行うための場を設定することを徹底する。

中学校においては、「生徒の英語による言語活動時間の割合」、「英語担当教員の英語使用状況」において、昨年より向上したものの目標としている数値を下回っている。また、英語担当教員の英語力の状況についても、英語能力に関する外部試験において目標とされる級や得点を取得している教員の割合は全国に比べて低く、増加させる必要がある。更なる授業改善と教員の英語力の向上を図るため、次の方策を考えている。

- ① 英語担当教員の英検、TOEFL、TOEIC等の外部検定試験の積極的な受験の推進のため、受験に係る受験料の個人負担金の補助を実施し、受験しやすい環境を整える。
- ② 生徒の英検、TOEFL、TOEIC等の外部検定試験の積極的な受験の推進が図られるよう、市町村教育委員会、学校を通じて周知する。
- ③ 英語教員が自身の英語力を把握し、自己の能力に応じた研鑽を積み、授業改善につなげるため、英語教育推進リーダーの研修会に参加する教員全員とその他希望者によるTOEIC受験を行う。
- ④ 年3回開催される英語教育推進リーダーの研修会の機会等を通じて、県内外の「CAN-DOリスト」の作成・実践例について県内中学校へ情報提供を行い、平成28年度中に新しい教科書に対応した「CAN-DOリスト」を作成するよう強く促す。
- ⑤ 研修協力校の公開授業において、言語活動の充実のための有効な取組等を具体的に示し、各校での指導改善の取組の推進に活かす。
- ⑥ 年3回開催される英語教育推進リーダーの研修会の機会等を通じて、「話すこと」及び「書

くこと」における英語表現能力を評価するためのパフォーマンステストの参考例について情報提供を行い、未実施の学校及び学年に実施するよう働きかけるとともに、実施している学校に対してもテストの内容の向上に努めるよう働きかける。

- ⑦ 研修協力校の公開授業において、英語による授業の進め方を具体的に示し、授業改善の方向性の共有を図り、各中学校での取組の推進に活かす。
- ⑧ 年3回開催される英語教育推進リーダーの研修会の機会等を通じて、地域ごとに拠点となる学校を設け、各学校で自主的、自立的な研修が実施できるよう、研修体制を確立する。推進リーダーが行った研修では、参加者にアンケートをとるなど研修評価を行う。

事業成果の把握の指標は次のとおりである。

- ① 求められる英語力を有する英語担当教員の割合
現状は25%であるが、本事業の助成金を活用し、外部検定の受検を推進するため、検定の受験料を補助する。平成29年度には、60%の教員が求められる英語力を有することを目指す。
- ② 求められる英語力を有する生徒の割合
現状は、33%であるが、客観的に英語力を把握するため、外部検定の受検を推進し、平成29年度には、55%の生徒が求められる英語力を有することを目指す。
- ③ 学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）
設定の現状は、22%であるが、平成28年度には、100%の設定を目指す。
- ④ 生徒の授業における英語による言語活動時間割合
現状は、57%であるが、公開授業等でモデルを示すことにより、平成29年度には70%を目指す。
- ⑤ パフォーマンステストの実施状況
現在、パフォーマンステストは、全学年とも90%以上実施されている。一方で、依然として実際には実施されていない学校、学年があることや、実際に実施されている学校でのテストの内容については、「話すこと」はスピーチ、インタビューがほとんどであることから、今後、研修会等の場面においてプレゼンテーションやディスカッションによる評価についても推進する。
- ⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況
現状は、40%であるが、中核教員の研修を活用し、平成29年度には70%を目指す。
- ⑦ 研修実施回数及び研修受講者数
毎年、英語教育推進リーダーによる研修を年3回開催する。平成28年度研修受講者数として約120名を予定。

高等学校においては、「生徒の英語による言語活動時間の割合」、「パフォーマンステストの状況」、「英語担当教員の英語使用状況」において、目標としている数値を大きく下回っている。更なる授業改善と評価方法の工夫が必要であり、次の方策を考えている。

- ① 平成27年度に引き続き、全ての県立学校から外国語科教員1名以上が参加する研修を行い、大学教授等による講義と演習を通して、英語教育の改善を進める。
- ② 研修協力校は、中央研修に参加した英語教育推進リーダーの学校を指定し、中央研修の成果を踏まえた研究に取り組む。また、外部専門機関の岡山大学等の教授とともに事前指導を含め継続的な指導を行い、公開授業において、生徒の言語活動や英語による授業の進め方等を具体的に示し、英語教育の改善についての方向性の共有を図り、各高等学校の指導改善の取組を研究の推進に活かす。
- ③ 外国語科教員の更なる資質・能力の向上が必要であり、外国語科教員に英検、TOEFL、TOEIC等の外部検定試験の受験を推進する。
- ④ 平成25年度に全ての県立高等学校において作成したCAN-DOリストを指導と評価の改善に活かし、その達成状況を把握し、学習到達目標を、生徒の学習状況を踏まえ必要に応じて見直し改善を図るよう継続して指導を行う。
- ⑤ 本事業の研修効果が高まるよう、総合教育センターで実施される、高等学校外国語科教員対

象の研修との連携を図る。

- ⑥ 高校生が事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら自分の意見を伝えることができる能力の育成を図るために、外国語科教員、生徒を対象にしたディベート研修会を開催するとともに、高等学校教育研究会英語部会と連携して実施している、高校生英語ディベート大会への参加を推進する。
- ⑦ 国で研修を受けた英語教育推進リーダーによる中核教員への研修を活用し、地域ごとに拠点となる学校を設け、各学校で、自主的、自立的な研修が実施できるよう、研修体制を確立する。
- ⑧ 「研修の評価方法」としては、授業改善の状況については、毎年定期的に行っている学校訪問において、授業を実際に観察することにより、改善状況を把握するとともに、目標管理書に挙げた目標値と達成値を検証し、研修内容・方法等について見直しを行う。

事業成果の把握の指標は次のとおりである。

- ① 求められる英語力を有する英語担当教員の割合

現状は56%であるが、本事業の助成金を活用し、「平成27年度公立小学校、中学校及び高等学校における英語教育実施状況調査」において、求められる英語力を有していない担当教員のいる学校に対し、該当教員を大学教授等による講義と演習に優先的に参加させるとともに外部検定の受検を推進するため検定の受検料の補助を行い、研修の成果と英語力を測るために英語力評価テストを受験するよう、学校長に協力を依頼する。平成29年度には、75%の教員が求められる英語力を有することを目指す。
- ② 求められる英語力を有する生徒の割合

現状は36%であるが、客観的に英語力を把握するため外部検定の受検を推進し、平成29年度には、55%の生徒が求められる英語力を有することを目指す。
- ③ 学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

設定の現状は、100%であるが、平成28年度は、学習指導要領の内容を踏まえた指導方法や評価方法の工夫・改善に活かすことができるものになるよう改善を進める。公表の現状は11%であるが、公表の意義の理解を進め、平成29年度には70%を目指す。また、達成状況の把握の現状は、33%であるが、CAN-DOリストを用いた授業改善の研修を行い、平成29年度には70%を目指す。
- ④ 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合

現状は、35%であるが、公開授業等でモデルを示すことにより、平成29年度には80%を目指す。
- ⑤ パフォーマンステストの実施状況

現状は、パフォーマンス評価の実施率が低く、ペーパーテストによる評価が重視されている傾向がある。パフォーマンス評価については、大学教授の研修を継続して行い、意義、実施方法について意識を高める。
- ⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況

現状は、24%であるが、中核教員研修等を活用し、平成29年度には100%を目指す。
- ⑨ 英語担当教員に対する研修実施回数、研修受講者数

外部機関と連携した研修を年1回、研修協力校での研究授業を各校1回開催する。外部機関と連携した研修には各校1名以上の参加とし、研修協力校の研究授業には、各校どちらかの研究授業に参加することとする。中央研修を終了した研修リーダーによる研修については、県下の全県立高等学校を2グループに分け3日間実施する。研修実施回数は6回、研修受講者数は240名を目指す。

(3) 研修の体系と内容の具体

- ・ 小学校教員研修（英語教育推進リーダーによる研修等 年3回実施）
 - 対象 : 岡山県の小学校100校から各校1名の参加（県内小学校の約1/3）
 - 研修目的・内容：英語教育推進リーダーによる研修 年3回 14時間実施
 - 第1日 英語教育推進リーダーによる研修 5時間
 - 第2日 英語教育推進リーダーによる研修 6時間
 - 第3日 英語教育推進リーダーによる研修 3時間
 - 研修協力校における実践発表
 - ※研修後は参加者に対しアンケートを行う。また、参加者に対し英語力評価テストの受験を促す。
 - ※各学校からの参加者は、勤務校において、研修内容について校内研修を実施し、他の教員と研修内容を共有する。
- ・ 中学校教員研修（英語教育推進リーダーによる研修等 年3回実施）
 - 対象 : 岡山県の中学校約120校から各校1名の参加
 - 研修目的・内容：英語教育推進リーダーによる研修 年3回 14時間実施
 - 第1日 英語教育推進リーダーによる研修 5時間
 - 第2日 英語教育推進リーダーによる研修 3時間
 - TOEIC受験
 - 第3日 英語教育推進リーダーによる研修 6時間
 - ※研修後は参加者に対しアンケートを行う。また、参加者に対し英語力評価テストの受験を推進する。
 - ※各学校からの参加者は、勤務校において、研修内容について校内研修を実施し、他の英語担当教員と研修内容を共有する。
- ・ 高等学校英語教員研修（外部機関からの大学教授等による講義・演習 年1回実施）
 - 対象 : 岡山県の全県立高等学校から各校1名以上の参加
 - 研修目的・内容 : 大学教授等による講義・演習
 - 「言語活動の評価について（仮題）」
 - 関西大学 教授 今井 裕之
 - 公開授業・研究協議（研修協力校 各1回開催 どちらかに参加）
 - 英語教育推進リーダーによる研修（Bグループ 2日実施 Cグループ 1日実施）
 - ※各学校からの参加者は、勤務校において研修内容について校内研修を実施し、他の外国語科の教員と研修内容を共有する。

小・中学校では、平成29年度についても、同様の構成の研修を実施する。小学校においてはH30までに県下全小学校の担当教員が、中学校においては、毎年県下全中学校の英語教員が研修に参加することとする。「研修の評価方法」としては、市町村教育委員会が行う学校訪問で授業を実際に観察し、改善状況を把握するよう市町村教育委員会に依頼する。

高等学校においても、平成29年度に、同様の構成の研修を実施し、岡山県の県下の外国語科教員全員が研修に参加することとする。「研修の評価方法」としては、授業改善の状況については、毎年定期的に行っている学校訪問において、授業を実際に観察することにより改善状況を把握するとともに、求められる英語力を有していない担当教員のいる学校に対し、該当教員を大学教授等による講義に優先的に参加させ、英語力評価テストを受験するよう、学校長に協力を依頼し、研修の成果及び英語力を把握するなど、PDCAサイクルの構築を図る。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月		
6月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第1日（小・中学校） 中学校英語研修講座第1日（総合教育センター） 高等学校英語研修講座第1日（総合教育センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校英語教員研修 研修協力校公開授業事前研修（小・中学校）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第2日（高等学校A） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第2日（小・中学校） 小学校外国語活動研修講座第1・2日（総合教育センター） 中学校英語研修講座第2・3日（総合教育センター） 高等学校英語研修講座第2・3日（総合教育センター） 岡山県高校生英語ディベート研修会 	
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第3日（高等学校A） 小学校外国語活動研修講座第3日（総合教育センター） 岡山県高校生英語ディベート大会 	<ul style="list-style-type: none"> 研修協力校公開授業事前研修（高等学校）
11月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第3日（小・中学校） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修協力校公開授業・研究協議（中・高等学校）
12月		
1月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進リーダーによる研修第1日（高等学校B） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修協力校公開授業・研究協議（小学校）
2月		
3月		
【その他の取組】		

